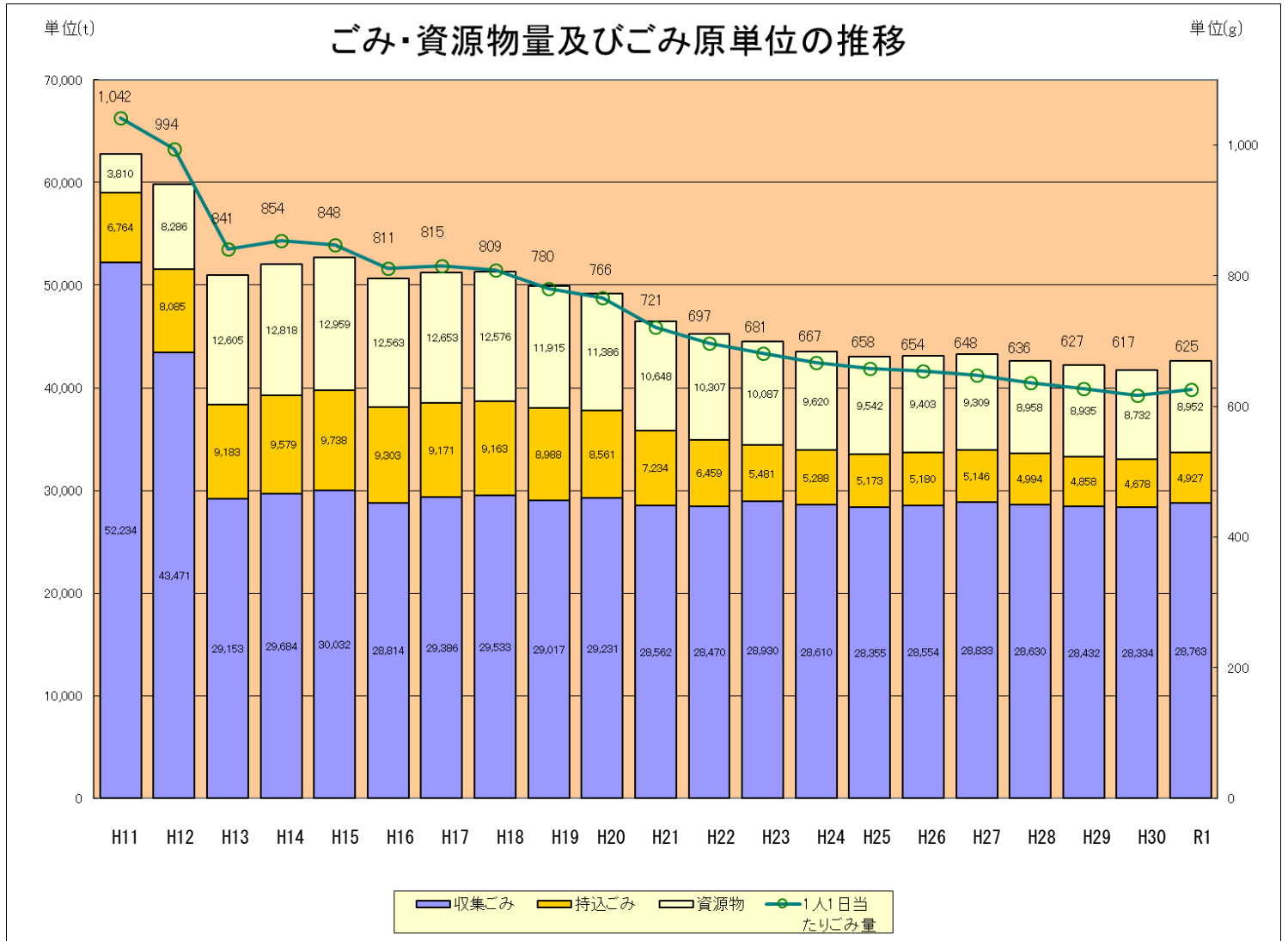


日野市の清掃概要

(令和元年度版)



日野市クリーンセンター

〒191-0021

日野市石田1-210-2

電話：581-0444

FAX：586-6606

1 分別収集

種 別	収集方法	排 出 方 法	収集回数
可燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（緑色・半透明） 家庭用ミニ袋（50ℓ）＝10円 小袋（100ℓ）＝20円 中袋（200ℓ）＝40円 大袋（400ℓ）＝80円 事業系小袋（150ℓ）＝100円 特大袋（450ℓ）＝300円	週 2 回
プラスチック類 ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（青色・半透明） 可燃ごみと同じ	週 1 回
不燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（橙色・半透明） 可燃ごみと同じ	4 週に 1 回
有害ごみ	原則戸別収集	・無 料 乾電池・水銀体温計はポリ袋、蛍光灯は購入時の箱等 ビデオテープ、ライター、スプレー缶を平成 17 年 11 月より有害ごみとして分別収集開始	週 1 回 (プラごみと 同日収集)
粗大ごみ	原則戸別収集	・品目別料金シール貼付制（電話申し込み） (品目により 200 円～3,000 円)	随 時
資 源 物	原則戸別収集	・無料回収 9 品目 雑誌・雑紙類、段ボール、紙バック類、古着・古布、かん、びん ペットボトル、新聞、小型家電・金属類	2 週に 1 回 4 週に 1 回

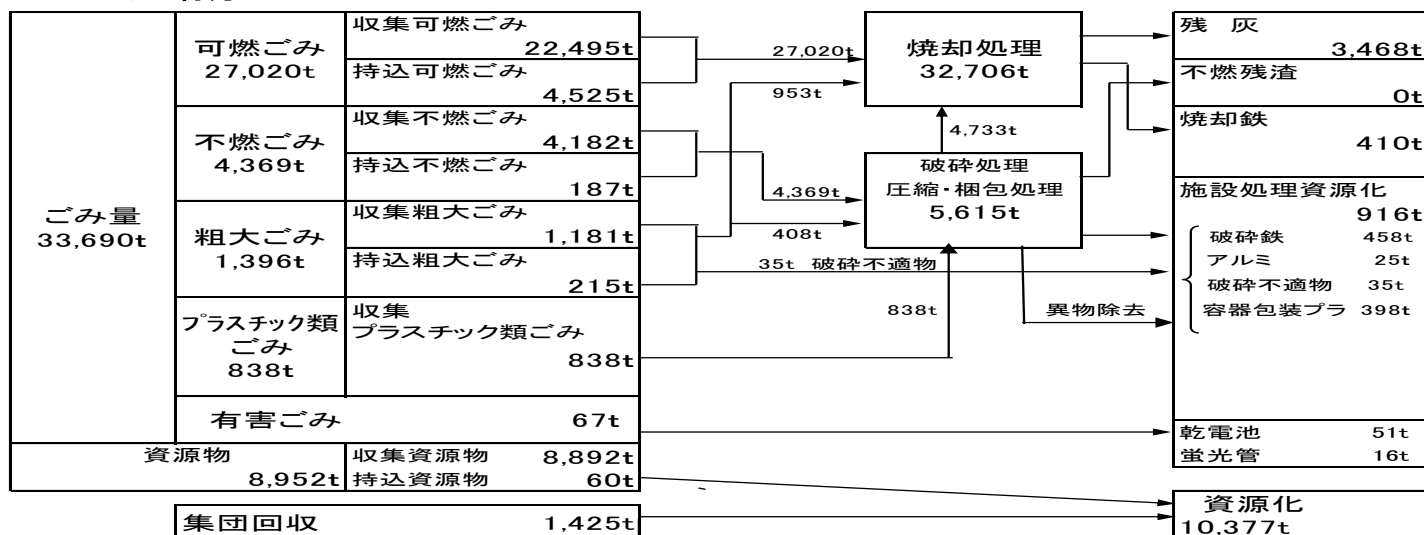
- ※ 平成 12 年 9 月までダストボックス収集（可燃・不燃）。平成 12 年 10 月から原則戸別収集及び市指定有料袋制。
- ※ 市指定有料袋は 1 枚当たりの手数料。 ※ 事業系ごみ（可燃・不燃）は 1 回の排出量が 900 以下の事業所のみ収集。
- ※ 平成 25 年 4 月から小型家電・金属類の回収を始める。（平成 27 年 4 月よりパソコンの回収を開始）
- ※ 令和 2 年 1 月からプラスチック類ごみの収集を始める。（これまでのトレー等の収集は廃止）

2 ごみ量の推移

年度	総ごみ量 (t)	内 訳 (t)							持込量 (持込資源物 を含む)	1 人 1 日当 たり排出量 (g)	1 人年間 排出量 (kg)	10/1 日現在 人 口 (人)
		可 燃	不 燃	プラスチック	粗 大	有害	資源物	小 計				
12	59,842	32,895	9,429	0	1,083	64	8,286	51,757	8,085	994	363	164,948
26	43,137	22,038	5,322	0	1,134	60	9,309	37,863	5,274	654	239	180,646
27	43,288	22,281	5,361	0	1,133	58	9,220	38,053	5,235	648	237	182,623
28	42,582	22,250	5,202	0	1,120	58	8,847	37,477	5,105	636	232	183,511
29	42,225	22,224	5,089	0	1,063	56	8,846	37,278	4,947	627	229	184,478
30	41,744	22,126	5,081	0	1,063	64	8,696	37,030	4,714	617	225	185,330
元	42,642	22,495	4,182	838	1,181	67	8,892	37,655	4,987	625	229	186,285

- ※ 1 人 1 日当たり排出量 (g) は総ごみ量 ÷ 各年 10/1 現在人口 ÷ 365 日で算出。ただし、平成 27 年度、令和元年度は 366 日で算出。
- ※ 1 人年間排出量 (kg) は総ごみ量 ÷ 各年 10/1 現在人口で算出。 ※ 10/1 現在人口は外国人登録を含む。
- ※ 平成 23 年 4 月より持込み料金を 25 円/kg → 42 円/kg に改定

3 ごみの行方



4 資源物回収状況

(1) 市事業

単位：kg

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
スチールかん	180,862	164,390	163,440	157,940	151,680	162,627
アルミかん	198,926	202,841	200,740	193,872	200,218	203,103
びん	1,264,550	1,297,850	1,289,010	1,261,130	1,214,750	1,218,850
新聞	574,350	515,010	450,750	404,530	325,980	306,530
雑誌・雑紙類	3,923,740	3,753,250	3,499,140	3,480,080	3,372,430	3,373,680
段ボール	1,478,180	1,506,220	1,503,730	1,548,630	1,528,330	1,651,240
紙パック類	61,465	60,067	56,853	53,949	53,640	53,510
古着・古布類	944,150	998,080	931,630	947,120	942,700	1,033,520
小型家電・金属類	297,350	323,770	330,220	333,080	378,830	408,960
ペットボトル	312,720	330,020	345,770	363,070	375,500	373,820
トレイ類	138,360	147,490	152,100	157,890	151,620	105,790
合 計	9,374,653	9,298,988	8,923,383	8,901,291	8,695,678	8,891,630

※ 平成5年10月から平成12年9月までステーション回収（市内全域420箇所）

※ 平成12年10月から原則戸別回収（市内全域）

※ 平成21年度からの回収量については、クリーンセンターへの持込み分を含む。

※ 平成22年4月1日より容器包装お返し大作戦を開始。ペットボトル、トレイ類の回収を2週に1回から4週に1回へ変更。

※ 平成25年4月1日より小型家電・金属類の回収を始める。（新聞の回収を2週に1回から4週に1回へ変更）

※ 令和2年1月より、プラスチック類ごみの分別収集を開始。

(2) 集団回収

単位：kg

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
スチールかん	11,318	11,357	12,948	14,688	13,737	11,872
アルミかん	38,112	38,943	40,706	41,316	39,206	35,756
びん	298	204	257	173	199	106
新聞	771,197	719,892	650,735	594,843	521,604	452,599
雑誌・雑紙類	562,650	561,432	574,762	564,080	535,614	523,332
段ボール	302,165	303,107	299,160	290,264	286,135	278,291
紙パック類	14,381	14,328	14,114	14,866	15,406	14,210
古着・古布類	98,795	104,523	105,356	104,791	106,074	109,188
合 計	1,798,916	1,753,791	1,698,038	1,625,021	1,517,975	1,425,354
奨 励 金	15,332,241	14,947,433	14,546,297	13,957,540	13,050,302	12,250,684
実働団体数	110	110	110	108	108	109

(3) 総資源化率

年 度	12	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
総資源化率	21.0%	36.1%	35.7%	35.3%	34.9%	34.9%	34.1%	34.4%

※ 総資源化率＝ $\frac{(\text{資源ごみからの資源化量} + \text{集団回収量} + \text{収集後資源化量})}{(\text{総ごみ量} + \text{集団回収量})}$

5 廃棄物広域処分場搬入配分量と搬入実績

年 度		H26	H27	H28	H29	H30	R1
焼却残灰	配分量	3,441 t	3,448 t	3,505 t	3,372 t	3,572 t	3,591 t
	実績	3,730 t	3,793 t	3,775 t	3,740 t	3,653 t	3,468 t
不燃残渣	配分量	71 m ³	78 m ³	84 m ³	0 m ³	0 m ³	0 m ³
	実績	159 m ³	26 m ³	0 m ³	0 m ³	0 m ³	0 m ³
	(t換算)	98 t	17 t	0 t	0 t	0 t	0 t

6 し尿収集量の推移

年 度		H26	H27	H28	H29	H30	R1
収 集 量 (kℓ)	し 尿	1,336	1,125	1,073	1,043	1,039	1,004
	浄化槽汚泥	5,697	5,591	5,487	5,251	4,836	4,688
	雑 排 水	95	6	8	4	2	1
	合 計	7,128	6,722	6,568	6,298	5,877	5,693
1日当たり収集量 (kℓ)		21	20	18	17	16	16
軽減証発行数 (枚)		1,582	1,561	1,539	1,116	1,281	1,242

7 ダイオキシン類排出濃度測定値

単位：ng-TEQ/m³N

年 度	H27		H28		H29		H30		R1	
測定値	1号炉	0.0079	1号炉	0.013	1号炉	0.045	1号炉	0.072	1号炉	0.170
		0.012		0.022		0.080		0.052		0.230
	2号炉	0.013	2号炉	0.028	2号炉	0.035	2号炉	0.015	2号炉	0.010
		0.019		0.021		0.00037		0.0019		0.006

※ 排出規制値：1ng-TEQ/m³N 平成25年度以降については、年2回、測定を実施。

ng…ナノグラム：10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類のそれぞれの毒性を2・3・7・8-四塩化ダイオキシンに換算したもの。

m³N…0℃、1気圧時の気体の体積

8 ごみの処理費

年 度	H12	H27	H28	H29	H30	R1
発生抑制費 (千円)	120,906	78,836	60,517	54,288	82,698	95,488
収集運搬費 (千円)	1,097,223	934,608	966,551	965,794	979,863	1,003,015
中間処理費 (千円)	974,853	1,199,536	1,090,414	1,194,723	2,266,982	3,773,054
最終処分費 (千円)	481,516	488,052	589,978	641,628	513,537	509,548
合 計 (千円)	2,674,498	2,701,032	2,707,460	2,856,433	3,843,080	5,381,106
総ごみ量 (t)	59,842	43,288	42,582	42,225	41,744	42,642
1t当たり経費 (円)	44,693	62,397	63,582	67,648	92,063	126,193
1人当たり経費 (円)	16,214	14,790	14,754	15,484	20,736	28,886

※ 1t当たり経費は、ごみ処理費の合計÷総ごみ量で算出。

9 指定収集袋の歳入による実績

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
家庭用可燃用袋	238,364,000	250,530,620	251,033,520	258,335,240	257,306,730	256,468,870
	6,953,080枚	7,288,425枚	7,254,808枚	7,424,630枚	7,391,816枚	7,358,588枚
家庭用不燃用袋	149,415,200	154,015,580	150,800,390	153,901,300	150,731,180	108,267,570
	3,498,110枚	3,613,083枚	3,551,423枚	3,612,290枚	3,526,217枚	2,532,456枚
家庭用プラスチック用袋						71,816,000 1,849,700枚
事業系可燃用袋	17,019,000	17,650,000	16,844,000	17,557,000	16,396,000	16,412,000
	67,010枚	69,120枚	65,800枚	68,530枚	68,660枚	64,920枚
事業系不燃用袋	9,168,000	8,937,000	8,831,000	8,747,000	7,839,800	7,839,800
	34,840枚	33,150枚	33,030枚	32,970枚	31,646枚	20,520枚
事業系プラスチック用袋						4,008,000 17,500枚
合 計	413,966,200 10,553,040枚	431,133,200 11,003,778枚	427,508,910 10,905,061枚	438,540,540 11,138,420枚	432,273,710 11,018,339枚	462,356,440 11,843,684枚

10 資源物売却による歳入実績 (資源物回収分)

単位：円

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
資源物回収分	72,819,880	64,299,495	48,105,021	66,213,748	62,462,993	67,416,390
施設処理資源化分	16,605,248	10,486,747	1,633,282	1,255,020	1,081,750	1,259,375
合 計	89,425,128	74,786,242	49,738,303	67,468,768	63,544,743	68,675,765

※ 平成23年度より破砕鉄、平成24年度より焼却鉄を売却。平成25年度より小型家電・金属類を売却したが、平成30年度より小型家電については逆有償に。平成27年度より破砕不適物の売却を行ったが、平成28年度に逆有償に戻る。